

山のトイレ協議会通信

第22号



令和元年5月1日朝、太宰府政庁跡から四王寺山を望む(右上は坂本八幡宮)

目次

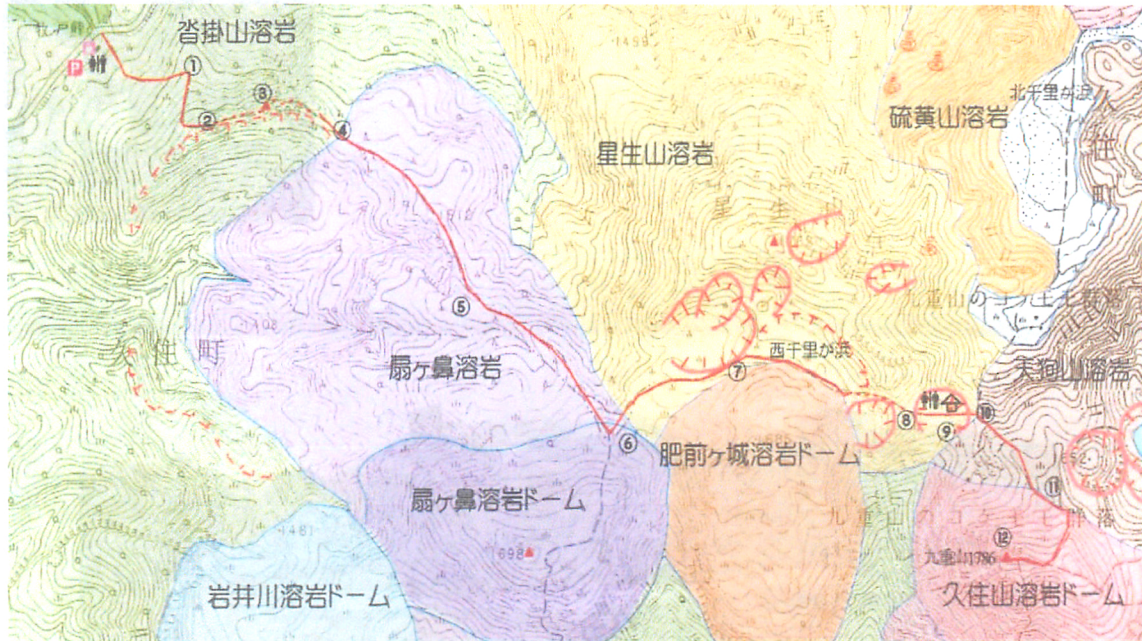
総会及び講演会のお知らせ	2
今後の方針他	3
第4回夏山フェスタ in 福岡	4
山のトイレニュース他	5

山のトイレ・環境を考える福岡協議会

総会及び講演会のお知らせ

講演会「久住のジオツーリストマップと自然保護」

— プラタモリの久住山登山と登山道の保護 —



「牧ノ戸峠から久住山のジオツーリストマップ (部分)」：横山秀司作成

山のトイレ・環境を考える福岡協議会の総会及び講演会を、下記の要領で行います。皆様のご参加をお待ちしております。この講演会では、「久住のジオツーリストマップと自然保護」と題して、九州産業大学名誉教授（専門は地理学）の横山秀司氏よりお話をさせていただきます。

久住山系は多くの火山の集合体です。牧ノ戸峠から久住山頂に至るまでの登山道をたどりながら、火山とその地形的特徴について解説します。併せてこの登山道の自然保護についても、お話しいただきます。

記

1. 日時：令和元年7月7日（日） 14：00～総会 / 15：30～講演会（1時間程度）
2. 場所：福岡市立早良市民センター 3F 第1会議室
（福岡市早良区百道2-2-1 電話番号：092-831-2321）
3. 参加費：講演会無料
4. その他：会員以外の方も総会の見学は自由です。
5. 会員の方は、講演会の終了後に「懇親会」（会費4,000円）を開催いたします。
（参加は、自由です）
6. 問い合わせ先：山のトイレ・環境を考える福岡協議会
090-9607-7556（太田） 又は、trek99@chic.ocn.ne.jp

《今後の方針》

山のトイレ・環境を考える福岡協議会の当面の指針について少しだけ述べさせて戴きます。当面の目標は九州の山やさんの聖地である、くじゅう山系久住分かれのトイレの改善と考えております。このトイレはご存じのようにバイオトイレですが、夏期は連休や花の時期に登山者が集中した時にはバイオによる処理能力を大きく上まわり、処理しきれない日もあります。また、冬期には完全封鎖され避難小屋ウラの環境が著しく悪化しているのも確認しております。この久住分かれのトイレを“いいカタチ”で改善できたならば、同様の問題を抱えた九州各地の山のトイレの問題の解決に一つの解決策の一例として大きな一歩になるものと信じ、私どもは取り組んでまいります。

その実現のためには、くじゅうの地元の大分県の登山者が主体となって解決に向け行動しなくてはなりません。それには登山に関わる大分の団体が協力し目的をいつにすることが必須です。そのために、福岡協議会は大分協議会の発足を現在、促しておる所です。

具体的には日本山岳会東九州支部加藤支部長を中心に大分県山岳連盟、大分県勤労者山岳連盟など地元の山岳団体がすでに交流されていると聞き及んでおります。更に私ども福岡協議会も九州地区レベルでの会議へ出席者が多くおられますので、その会議の折、各県の代表の方々にお伝えし、協力を得られるよう動いております。

まず、大分協議会を発足し、九州各県の支持を戴き、関係自治体の参加を促し、くじゅうで第1回九州・山のトイレサミット(仮称)を開催し、「九州・山の携帯トイレ宣言」を採択する。そして九州各地での“いいカタチ”の山のトイレの問題の解決に向け取り組んで参ります。この“いいカタチ”とは各山の事情がそれぞれに違いますから、その山に最適なもの、と言う事です。

私共は、地域の方、登山者にとって未来に“いいカタチ”の山を残していけたらと考えております。どうか今後とも私共にお力添えを戴けますよう宜しくお願い申し上げます。

運営委員長 貞苺 誠

《今後の目標》

現在、山のトイレ・環境を考える福岡協議会では久住分れのトイレ問題に取り組んでいます。平成28年度～29年度にかけて久住分れ避難小屋に併設してあるバイオトイレについて視察山行を行い、平成30年度には九州本土で唯一、携帯トイレブースと回収ボックスが設置してある高千穂峰に携帯トイレの利用状況の視察を行いました。その結果、久住分れのトイレは携帯トイレが望ましいという意見が出ました。大分県にある久住分れのトイレ問題の解決には地元大分県の協力は欠かせません。そこで、日本山岳会東九州支部と連携し、大分県下の山岳団体、自然保護団体、観光団体、及び地元自治体を巻き込んで、九重山域全体のトイレの望ましいあり方を模索し、議論を積み重ねる必要があるかと思っております。山のトイレ・環境を考える福岡協議会は、令和時代の当面の目標として上記関係団体等が集まり、「九州・山のトイレサミット」(仮称)の開催を目指すことを会員の皆様に提案します。

(記 池松和弘)

第4回 夏山フェスタ in 福岡

場所 電気ビルみらいホール 福岡市中央区渡辺通 2-1-82

6月22日(土)12:00~18:30

4階みらいホール セミナースケジュール

12:00 開場

13:00~ 「山岳遭難の現場から」 講師 櫛引知弘 氏 (長野県警察山岳遭難救助隊隊長)

14:15~ 「8km女子登山隊長から学んだこと ~安全に山をのぼるための健康管理~」

講師 橋本しをり 氏 (沢田はしもと内科院長、国際認定山岳医 東京女子医科大学山岳会 女子登攀クラブ所属)

15:30~ 「安全に山歩きを楽しむために」 ~これだけは知っておこう~

講師 磯野剛太 氏 (公益社団法人日本山岳ガイド協会理事 全国「山の日」協議会理事長)

16:40~ 対談 「くじゅうの過去・現在・未来」

[法華院山荘] 弘蔵岳久 氏 [くじゅうの自然を守る会]理事長 高橋裕二郎 氏

3階E会議室 セミナースケジュール

14:00~ 登山装備の軽量化に関して (Mt. 石井スポーツ)

15:00~ テーピングの方法講座 (キネシオテープ)

16:00~ 山の道具、ウェアのメンテナンス (ラリーグラス)

6月23日(日)9:30~18:30

4階みらいホール セミナースケジュール

9:30~ 開場

10:00~ 「アプリ Compass によるオンライン登山計画システム」

講師 今史靖 氏 (クルーズ・コミュニケーション代表取締役)

11:30~ 「一眼レフで写真撮影を始めよう！」 講師 鈴木謙介 氏 (フォートグラファー

フォート倶楽部) 講師 「International Photography Awards」2度、部門別の1位を受賞。

13:00~ 「山と自然 私のアウトドアスタイル」

講師 四角友里 氏 (山の日アンバサダー) 「山スカート」を日本に広めた女子登山ブームの火付け役。

14:15~ 「山岳ガイドの安全対策」 講師 角谷道弘 氏 (日本テレビ「イッテQ登山部」のメインガイド

国際山岳ガイド、日本プロガイド協会会長)

15:30~ 「登山地図アプリ YAMAP の使い方」

講師 YAMAP (登山・アウトドア向けアプリ YAMAP の運営・開発)

16:45~ 「地図を読み、美しい世界の名峰・無名峰を眺め歩く」

講師 渡部秀樹 氏 (日本山岳会福岡支部事務局長、アルパインツアーサービス取締役)

3階B会議室 セミナースケジュール

10:00~ ハイキングで役立つロープの結び方 (福岡県勤労者山岳連盟)

※太さ6mm以上、長さ2mのロープを持参ください。

11:00～ ～登山をもっとスマートに～ プロトレックススマート YAMAP 活用講座
(CACIO・YAMAP)

12:00～ 山で迷わない、地形図とコンパスの使い方 (福岡県勤労者山岳連盟)
※プレートコンパスをご持参ください。

13:00～ ウェア選びで山登りを快適に、安全にする (finetrack)

6月23日(日) 3階B会議室 セミナースケジュール

14:00～ 山のトイレ事情と携帯トイレの使い方

(山のトイレ協議会) 講師 磯野 文雄 氏 (日本山岳会北九州支部)

15:00～ 九州百名山・白嶽(しらたけ)と国境の島・対馬 (対馬観光物産協会)

16:00～ スマホで写真を楽しもう! (九電みらい財団)

《山のトイレニュース》

◎英彦山のバイオトイレについて

英彦山のバイオトイレの管理をしてある筑豊山の会から、バイオトイレの使用済みのチップを担ぎ下ろしについて手伝ってもらえないかという協力依頼があります。英彦山のバイオトイレは年に一度、使用済みのチップを麓に下ろして処理してあるそうです。全部で300kgの重さがあり、筑豊山の会の会員の皆様が分担して下ろしてありましたが、会員の高齢化により、筑豊山の会だけではこれらのチップを担ぎ下ろすことが困難になったそうです。チップは一人当、500g～1kgに小分けして専用の袋に詰めてシール貼りしてあり、中岳上部のバイオトイレから奉幣殿まで担ぎ下ろしてもらえば良いということです。バイオトイレで使ったチップは肥料としても使えるとのことで、清掃ハイクの時などにしてもらえばということです。

現在、山のトイレ・環境を考える福岡協議会は下記の個人、団体によって支えられています。

〈個人会員〉会員数 48名 個人情報の関係で氏名公表は差し控えました。

〈団体会員〉会員数 13団体

RKAC 山の会 アイテックシステム(株) あだると山の会 九州高地植物保護協会
九州登山情報センター 田川かたつむり山の会 筑豊山の会 日本山岳会福岡支部
日本山岳会北九州支部 福岡県勤労者山岳連盟 福岡県山岳連盟 宝満宮竈門神社
山の自然に学ぶ会

〈協賛団体〉太宰府天満宮 (株)ムッシュ

山のトイレマナーと環境にやさしい登山を



- ・山に入る前には麓のトイレで用を足しましょう
- ・山中では設置のトイレで用を足しましょう
- ・トイレにゴミは捨てないようにしましょう
- ・公衆トイレがない山では携帯トイレを使いましょう
- ・やむを得ず山中(トイレ以外)で排泄する時は
穴を掘って埋めるなどの処理をしましょう
- ・使用済みのペーパーは必ず持ち帰りましょう
- ・花を手折ったり、盗掘はやめましょう
- ・登山時のゴミは持ち帰りましょう

会費未納の方へお願い!

払込書を同封しています。ご協力よろしくお願い致します。

会計より

山のトイレ・環境に関する情報や会員皆様の活動報告、ご意見を募集しています。

原稿の送り先 trek99@chic.ocn.ne.jp 又は下記の九州登山情報センター内まで

山のトイレ・環境を考える福岡協議会

運営委員会事務局(山のトイレ通信担当) 池松和弘

編集後記

山のトイレ問題を考える時、はたして山歩きと山の自然保護は両立するのか?自分の中では、まだ、その明確な答えを見いだしてはいないが、何も考えず自然破壊を続けるより、少しでも山の自然環境を保全する方法で山歩きを楽しみたいと考えるようになってきた。

(K・I)

山のトイレ協議会通信 第22号

発行日 2019年5月28日

山のトイレ・環境を考える福岡協議会

〒818-0115

太宰府市内山708番地

九州登山情報センター内

☎&FAX 092-928-2729(水・木曜休)